

平成28年度入学試験問題（社会人特別入試）

## 小論文

法文学部 国際言語文化学科 英語文化専攻（夜間主コース）

### 注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

## 問 題

人、モノ、情報の動きが、国境を越えて活発になるにつれ、英語は、多様な言語文化を背景とする人々を結ぶコミュニケーションの手段となっている。その一方、母語の影響を受けた英語の発音、文法、表現など、英語そのものが多様化する現象も起こっている。こうした現状をふまえ、あなたはどのような英語の習得をめざすか。また、そのような英語を習得するために、大学では何を学ぶべきだと考えるか。あなたの考えを1000字以上、1200字以内で述べなさい。

平成28年度入学試験問題（社会人特別入試）

## 小 論 文

法文学部 国際言語文化学科 英語文化専攻（夜間主コース）

### 出題の意図

国際言語文化学科、英語文化専攻では、英語を中心とする言語、文学、文化、歴史に強い関心と学習意欲を有し、異なる文化と自己の文化に対する多面的な理解と、あらゆる物事を地球的規模で考える力の獲得へ向けて、主体的・積極的な学習のできる学生を求めることをアドミッションポリシーとしている。本入試問題では、人、モノ、情報のグローバル化に伴い、英語が世界的共通語となる一方で、英語そのものが多様化しているという現実をどう認識するかと同時に、自らが習得をめざす英語と大学で学ぶ意義の関連について、論理的で説得力のある文章で論ずることができるかを問う。